

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 三井金属鉱業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 141-8584 東京都品川区大崎一丁目11番1号	
本票作成	部署名：環境安全課				
主たる業種	分類コード	32	業種名：その他の製造業		
事業の概要	磁性鉄粉の製造、基準生産量：5,000t/年、従業員数：46人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	日比製煉所		岡山県玉野市日比6-1-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 1 年度 ~ 令和 3 年度 (3 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 30 年度)			目標年度 (令和 3 年度)					
	7,346 t CO ₂			7,700 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 30 年度) の排出量					
	①	日比製煉所		7,000 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 マグネタイト生産量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		1.588 t CO ₂ / (t)	1.540 t CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 30 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

- ・生産量が年度毎に変化するため、原単位基準を選択した。
- ・基準生産量は5,000t/年とし、原単位あたりの排出量を0.048tCO₂/t削減し、CO₂削減量は5,000t/年×1.540tCO₂/t=7,700tCO₂を目標として、平成30年度を基準として3.0%削減する。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・エネルギー管理責任者4名：工場長（工場責任者）、製造課長（製造課責任者）、製品管理室長（製品管理室責任者）、開発室長（開発室責任者）
- ・エネルギー管理担当者6名：製造課作業長1名、製造課作業副長5名
- ・ISO14001に沿って推進する。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
日比製煉所	平成28～30年度は下記の取組みを実施した。 ①蒸気使用量の削減（灯油使用量の削減） ・乾燥機内の熱交換器の更新 ・効率の悪い第1工場から第4工場への集約 ②製品の回収率アップ=生産性向上 ・設備からの漏れこぼれ対策実施。 ③その他 省エネ活動 ・コンプレッサーエア一漏れ、不使用配管への流入対策 ・省エネタイプへのフォークリフト更新

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
日比製煉所	令和元年～3年度は下記の取組みを計画している。 ①蒸気使用量の削減 ・蒸気配管、バルブ類の保温強化。 ・スチームトラップの点検及び更新。 ・乾燥機熱交換器の定期的な更新及び整備。 ②製品の回収率アップ=生産性向上 ・少量品種の生産終了。 ・設備からの漏れこぼれ対策。 ③その他 省エネ活動 ・エアコンプレッサーのエア漏れ、不使用配管への流入対策。 ・動力のインバーター化と更新。 ・照明のLED化。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--